

# 平成 26 年度事業報告書

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

## 【報告】

生涯学習センターでは、「さっぽろ市民カレッジ」を中心に、現地学習や実習を交えるなどの学習プログラムの充実やセンター以外の施設での講座実施など、多様な学習機会の提供に努めるとともに、学びをとおした交流や団体間の連携を支援する取組みの拡充を図った。

また、学習成果を生かした市民の社会参加を積極的に進めるため、市民講師（ご近所先生）の企画・運営による講座の実施やボランティア団体などのセンター事業への参画を図った。

青少年科学館は、平成 25 年度の「天文・地球科学コーナー」のリニューアルを含む耐震改修工事を経て、4 月 24 日に再開館し、多くの来館者で賑わった。さらに、平成 27 年 3 月には「交通・力学コーナー」もリニューアルした。事業においては、さまざまな団体と連携し、科学やものづくりに関する講座の充実を図るとともに、初めて幼児向けのプラネタリウム番組（おぼけのマ〜ルとゆめのとびら）を制作し、保育園や幼稚園の団体利用を促すなどの取組みを行った。これらの結果として、開館以来最高の 44 万 392 名の来館者数となった。

また、札幌市天文台についても、社会的な注目を集める天文現象があり市民の興味が高まったことや天文台を訪れる観光客が増加したことなどに伴い、前年度比で約 4 割も利用者が増えた。

# 公 1 生涯学習普及振興事業

(定款第 4 条各号に掲げる事業)

## I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目 的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

### 1 学習機会提供・活動支援事業

#### (1) さっぽろ市民カレッジ

年間を 3 期（4～8 月、9～12 月、1～3 月）に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系で合わせて 306 講座を実施した。市民の様々な学習ニーズに対応するため、センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生（市民講師）の企画・運営による講座や、大学・企業とも連携した講座を実施するなど、多様な学習機会を提供した。

さらに、高校生と大人と一緒に学ぶ＜学社融合講座＞では、受講生の世代を超えた交流を図った。

#### ア 市民活動系

ボランティア活動、市民活動、地域活動などに必要な知識・技術を学び、まちづくり活動などに参加するきっかけづくりの場とするため、実践的な学びの場として、現地学習を取入れた講座を強化し、実施した。

施設訪問コンサート実習を取入れた「楽しく歌ってボランティア」などを実施し、市民の主体的な学習を支援した。



#### イ 産業・ビジネス系

職業能力の向上や起業などに役立つための講座を実施した。

ビジネス・スキルアップのための「判断力を高める～インバケット・ビジネストレーニング」、お客様が心地よく買い物ができる売り場づくりのノウハウを学ぶ「買い物がしたくなる売り場をつくろう」などを実施した。



#### ウ 文化・教養系

趣味・教養講座などで市民の学習意欲の向上を図るとともに、継続的な学びの場を提供し、幅広い年齢層に向けた講座を実施した。

高齢者を対象としたパソコン講座「パソコンをゆっくり学ぼう」や、裁判所見学を取入れた実用法律講座「初めての裁判所訪問～裁判の仕組みを学び、市民としての基礎知識を学びます～」などを実施した。また、子育て支援の一環として、親子で和太鼓を使ったリズム遊びを体験するワークショップ形式の講座を実施した。

【実績】さっぽろ市民カレッジ講座内訳

※括弧内は前年度実績

	センター 企画講座	学社融合 講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	講座数計	受講者数計
市民活動系	24 (29)	9 (5)	3 (2)	— (—)	36 (36)	522 (505)
産業・ ビジネス系	26 (28)	7 (4)	— (—)	— (—)	33 (32)	470 (343)
文化・ 教養系	58 (48)	12 (22)	17 (12)	150 (167) 地域：27 (21)	237 (249)	4,302 (3,990)
合計	108 (105)	28 (31)	20 (14)	150 (167)	306 (317)	5,294 (4,838)

(2) 生涯学習関連講座

行政・大学・企業等と連携し、その特性や資源を生かした講座を実施した。

ア 大学などとの連携事業

それぞれの大学の教員や学生とともに企画から運営までを行う講座を実施した。

【実績】札幌市立大学連携講座3回43名

「札幌の文化財建造物探訪(夏)豊平館の探検」ほか  
北海道教育大学札幌校連携講座7回90名

「懐中電灯で光のお絵かき～ピカピカアートにチャレンジ!～」ほか



イ 行政機関連携講座

センターが有する企画・運営のノウハウを生かし、手稲区役所から小学校4年生～6年生対象の「夏休み自由研究に役立つ～手稲史跡巡りバスツアー～運營業務」、西区役所から高齢者対象の「第40期西区ときわ大学企画運營業務」をそれぞれ受託し、実施した。



【実績】「東区年輪大学」16回64名

「手稲史跡巡りバスツアー」40名（前年度40名）

「西区ときわ大学」15回41名（前年度15回35名）

## ウ 民間企業などとの連携事業

アサヒビール(株)北海道工場、雪印メグミルク(株)北海道統括支店と連携し、それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、企業の社会貢献活動に協力した。

【実績】「カラダの中と外から潤い美肌」49名

「親子で牛乳工場見学と紙パック工作」4組8名

「竹鶴政孝とウイスキーの歴史」40名

「親子で牛乳工場見学とバター作り体験」22組45名



## エ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

専門機関や各種学会・協議会などと連携し、現地学習を交えるなどして専門性が高い中にも親しみが感じられるような講座を実施した。

【実績】「国際交流・多文化共生講座～ご近所の外国人と楽しく暮らすコツ～」8名

「トンネルで見るなら夜でナイト2」20名

「親子でお江戸な『紙切り体験』」12組24名

「噺家に学ぶ『落語』体験」16名

## (3) 生涯学習普及事業

### ア ちえりあフェスティバル

ちえりあの開館（8月25日）を記念して、館内の4施設（生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザ宮の沢）が共同で開催し、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行い、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。



【実績】8/23(土)～24日(日)16,992名

(前年度2日間13,913名)

- ・ロビー特設ステージでのコンサート、ショー
- ・各種講座、サークル活動体験コーナー
- ・移動プラネタリウム
- ・移動動物園 ほか

### イ ちえりあ映画会

センター所蔵の映像教材の活用と映画を楽しむ機会を提供するための映画会を行った。ボランティア団体の「ムービー北海道」の協力を得て、視聴覚障がい者も鑑賞できるよう副音声や字幕付きの作品も上映した。

また、学校の長期休業期間には子ども向け作品を上映した。

【実績】10回2,253名（前年度10回2,755名）

大人向け6回1,213名「父と暮らせば」ほか  
子ども向け4回1,040名「チルビー」ほか

## ウ オペラシアター

オペラに関する幅広い知識を学ぶため、センター所蔵のDVDによる世界一流のオペラを鑑賞するとともに、専門家の解説を組み合わせた講座を実施した。

【実績】6回764名（前年度6回688名）

## エ ちえりあ映像フェスタ

北海道や札幌をテーマに市民から公募した映像作品や視聴覚センター制作作品の上映会とコーディネーター（北海道教育大学教授/伊藤隆介氏）による講評を行い、地域の魅力について考えるきっかけとした。



【実績】3/7(土)応募17作品、来場者107名

（前年度 応募18作品、来場者106名）

## オ ちえりあ講演会

生涯学習活動の普及啓発を図るとともに、さっぽろ市民カレッジをはじめとする事業のPRを図るため、市民が興味関心を持つテーマの講演会を開催した。



【実績】2講演275名（前年度2講演582名）

11/24(月・祝)「夢を追いかけて～サッカーが教えてくれた諦めない心～」

講師：吉原宏太氏 参加者143名

3/13(金)「北の大地の水族館に奇跡が起きる

～集客倍増の仕掛けと新しいまちづくり～」

講師：若杉鉄夫氏 中村元氏 参加者132名

## カ ゆりかごコンサート

子育て中の親とその子どもを対象に、コンサートを開催し、気軽に音楽を楽しんでもらえる場を提供した。

【実績】2公演313組631名（前年度2公演600組）

9/11(木)親子で楽しむ和太鼓コンサート

出演：太鼓集団「響」 参加74組153名

2/26(木)親子で楽しむ吹奏楽コンサート

出演：TwinkleStar☆ウィンドアンサンブル 参加239組478名



## キ CDコンサート

センター所蔵のCDと音響機器を活用し、ゆっくりと音楽に親しむ場を提供するとともに、CDの館外貸出し等の利用促進につなげた。

【実績】12回243名（前年度12回344名）



## ク 日本映画名作祭2014（主催：日本映画名作祭2014実行委員会）

上記実行委員会の一員として参画し、東京国立近代美術館フィルムセンターが保有する日本の貴重な名作映画を上映し、映画文化の普及を図った。

【実績】10/23(木)～24(金)

小林正樹監督「この広い空のどこかで」ほか4作品各2回上映753名  
（前年度4作品各2回上映 737名）

## ケ 北海道吹奏楽フェスティバル（共催：北海道吹奏楽プロジェクト）

若手プロ奏者たちによるアンサンブルの演奏会と、中学・高校の吹奏楽部に公開レッスンを行うレクチャーコンサートを開催し、吹奏楽活動を支援し、その普及を図った。

【実績】2公演 1,069名（前年度2公演902名）

1/30(金)札幌管楽ゾリステンリサイタル

1/31(土)北海道吹奏楽プロジェクトコンサート

（中学校5校、高校3校、HBPアカデミーバンド）



## コ 西区コトニジャズinちえりあ（主催：札幌市西区役所）

文化芸術を生かしたにぎわいのあるまちづくりを進めるため、市民が気軽に芸術にふれる機会としてのジャズコンサートを支援した。

【実績】1/17(土)310名

出演者：坂本奈々クインテット、COPADO I Smeets horn section、  
蛇池雅人オクテット



## サ カルチャーナイト

夜間、公共施設などを開放し、文化活動の発信を通じて、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に実行委員として参画し、クレイアニメ「クロマメ」の上映と「クレイアニメの作り方」ミニ実演を開催した。

【実績】7/18(金)40名（前年度136名）

#### (4) 文化振興事業

落語を通して日本の古くからの風俗・習慣・人情を学び、日本の伝統芸能への理解を深めるきっかけとするため、落語事業を行った。

##### ア 落語学校鑑賞会

日本の伝統芸能である落語の楽しさや奥深さに触れてもらうため、中央区、西区、手稲区の小学校7校を無料招待し、鑑賞会を実施した。



【実績】6/25(水)～27(金)6公演1,460名(7校) (前年度6公演1,325名(6校))

招待校：発寒南、西園、発寒西、伏見、大倉山、稲積、前田北

##### イ 特選若手落語会

落語の魅力を紹介するため、次代を担う若手落語家の公演会を開催し、気軽に落語を楽しむ機会を提供した。

【実績】6/28(土)305名 (前年度242名)

主な出演者：瀧川鯉昇、三遊亭遊之介

##### ウ ちえりあ寄席

寄席の奥深さを鑑賞する機会を提供するため、公益社団法人落語芸術協会と連携し、寄席囲いをしつらえた舞台上、真打はもとより、前座、二つ目、色物も出演する道内唯一の本格的な寄席を行った。今年は、札幌出身の落語家である春風亭柏枝の襲名・真打昇進を祝う「披露口上」を特別企画として全公演で行った。また、寄席文字の実演も全公演で行った。



【実績】8/22(金)～24(日)4公演1,265名 (前年度4公演1,110名)

主な出演者：桂歌丸、春風亭小柳枝、春風亭柏枝、橘右楽

##### エ ちえりあ学生寄席

落語などの芸術文化を学ぶ学生（北海道大学落語研究会）に成果を発表する機会を提供し、市民に落語を親しんでもらうため「ちえりあ寄席」のステージを活用した寄席を行った。

【実績】8/21(木)217名 (前年度197名)



##### オ 秋のお気軽ミニ落語会

落語の世界とその鑑賞方法などを学んでもらうため、講座形式の公演を実施した。

【実績】11/16(日)128名 (前年度79名)

主な出演者：桂歌春、春風亭柳若、林家花

## (5) 学習活動支援事業

### ア サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体が学習成果を披露する「サークル発表会」を開催し、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることに役立てた。

【実績】参加69団体、来場者1,655名

展示部門：11/15(土)～21(金)参加18団体

舞台部門：11/19(水)～21(金)参加51団体722名

(前年度 参加66団体(展示17団体、舞台49団体)、来場者1,380名)



### イ ロビーコンサート

市内や近郊で音楽活動に取り組んでいる個人、団体から出演者を公募し、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に演奏を気軽に聴いてもらう場を設けた。

【実績】12回参加12団体に来場者1,804名

(前年度 参加12団体、来場者1,815名)



### ウ 幼稚園児のお絵かき展

一般社団法人札幌市私立幼稚園連合会の協力のもと、幼稚園児の活動発表の場としてロビーで作品展を開催した。期間中は普段来館することが少ない園児やその家族が来館し、楽しそうに展示作品を眺めるなど館内に明るい賑わいが創出された。

【実績】参加12園1,832作品(前年度15園2,185作品)

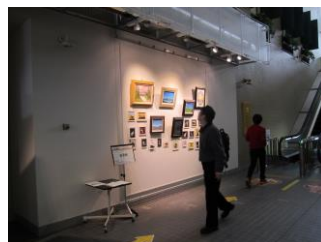


### エ アートウォール作品展示

ロビーの壁面を活用し、市民から募集したアート作品の展示を行うことで、芸術活動に取り組む市民に発表の場を提供した。

【実績】出展者10名(前年度10名)

「伸びたい魚／日本画」、「彩字手紙／書道」、「Earth／グラフィック」ほか



### オ ロビー展示

ロビー及びギャラリーで市民カレッジ受講生の作品展などを行い、学習成果発表の機会提供と学習意欲向上を図った。



## 2 学習支援者活用・育成事業

### (1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

#### ア 市民講師育成事業（ご近所先生）

講師としての資質向上とスキルアップを図ってもらうため、ご近所先生企画講座を開こうとする市民を対象に研修会と交流会を実施した。

【実績】研修会4回参加者143名

講師交流会1回参加者23名



#### イ 生涯学習ボランティア育成事業

さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」と、視聴覚教育にかかわるグループ「オンデマンド」に、活動の場と機会を提供し、ボランティアとしての資質や能力の向上を図った。

【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者46名（前年度47名）

「オンデマンド」登録者7名（前年度9名）



#### (a) 16ミリ映写機操作技術講習会

メディアボランティア「オンデマンド」のメンバーが講師となり、学習活動や地域活動で16ミリフィルムを利用できるようにするための操作技術講習会実施を支援した。

【実績】11/9(日)受講者数8名



#### ウ 職場体験などの受入れ

大学のインターンシップなどを受入れ、講座の企画・立案や運営など、生涯学習に係る職業体験の場を提供した。

【実績】7校29名（前年度4校25名）

北海道大学5名、札幌市立大学1名、

札幌国際大学8名、札幌英藍高校4名、

豊明高等養護学校1名、手稲稲積中学校5名、宮の森中学校5名



#### エ 生涯学習関連施設職員研修事業

区民センター、地区センターなど生涯学習活動支援に関連する施設職員の資質向上を図るため、事業の企画立案や広報などに必要な知識やノウハウを身につける研修を実施した。



【実績】2回19施設58名（前年度2回23施設33名）

2/13(金)16施設29名

2/17(火)16施設29名

## (2) ボランティア等活用事業

### ア 学習支援者活用推進事業

さっぽろ市民カレッジ受講修了者に対して、学んだ成果を生かしてもらうため、センター事業や地域での活動の場を提供し支援を行った。

#### (a) ちえりあビデオクルー

映像メディア講座受講生で結成されたグループに、センター事業、地域の活動・行事、自然風景などのビデオ撮影・編集を依頼し、センターのホームページで作品を発信した。また、映像メディア講座の講師を務めてもらった。



【実績】登録者数22名（前年度22名）

#### (b) 市民ファシリテーター

市民ファシリテーター養成講座修了者に同講座の補助講師を務めてもらった。



【実績】登録者数2名

#### (c) コーラスボランティア

「楽しく歌ってボランティア」講座修了者で結成されたグループに同講座の運営補助を務めてもらった。



【実績】登録者「チェリーズ」10名（前年度10名）

「プリティボイス」13名

#### (d) カメラボランティア

写真の撮影技術や知識を学ぶ講座の修了生がつくるボランティアサークルに対して撮影の場を提供するとともに、広報誌をはじめとする発表の場を提供した。



【実績】登録者「ポレフォト」8名（前年度8名）

「ハピネス」5名

「you快」7名

#### (1) 施設の貸与

##### ア 貸室事業

ホールやサークル活動室などを学習活動の場として提供した。

また、利用率の向上を図るために、ホールの利用料金割引制度を引続き実施したほか、陶芸室、和室・茶室、コンピュータ研修室の利用料金の引き下げを行った。

**【実績】 貸室利用件数14,705件、利用率80.2%**

(前年度 貸室利用件数14,472件、利用率79.2%)

##### イ ギャラリーの活用

ギャラリーを市民の学習成果の発表の場として提供した。

**【実績】 ギャラリー利用件数14件 (前年度16件)**

##### ウ 学習のための施設開放

施設を弾力的に活用し、大研修室などの空き室を学習の場として開放した。

**【実績】 夏季期間 (7/22(火)～8/17(日)) 11日間199名**

**冬季期間 (12/20(土)～3/15(日)) 44日間873名**

##### エ 公共目的事業の共催

市民によるまちづくり活動の一環として催された映画上映会など、外部団体による生涯学習に係る事業で、当財団の公益目的事業に沿うものについて共催することで会場協力や支援を行った。

**【実績】 共催事業4件 (前年度6件)**

#### (2) 学習相談・情報提供

##### ア 学習相談、サークル・講師の紹介

メディアプラザの学習相談を始め、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、サークル活動の情報提供や、「ちえりあ市民講師バンク」として講師の登録を行い、地域活動など市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

あわせて、「ちえりあサークル」に登録している団体の情報をまとめた「サークルガイド」を発行した。

**【実績】 メディアプラザ学習相談4,978件 (前年度542件)**

※平成26年度より統計内容を変更

**サークル登録148件 (前年度134件)**

## イ 広報誌の発行

生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、公共施設などに配布した。

**【実績】6回発行（5月、7月、9月、11月、1月、3月）各回13,000部**  
（前年度6回発行各回12,000部）

## ウ ホームページの活用

講座やイベントなどの情報提供のほか、ちえりあビデオクルーが撮影した動画を配信するなどして、センターの事業を紹介した。

また、9月から貸室の空き状況を確認できるようにし、利便性の向上を図った。

**【実績】ホームページアクセス数1,168,170件（前年度1,048,490件）**

## エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

行政機関、大学、民間カルチャーセンターなどで実施している講座の情報をまとめ、市民に提供する冊子を発行した。

**【実績】2回発行（6月、11月）各回3,000部（前年度2回発行各回3,000部）**

## オ 「子どもの学びガイド」の発行

学校休業日に市内公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介するガイドを発行し、市内の全児童に配布した。

**【実績】4回発行（7月、9月、12月、3月）各回93,000部**  
（前年度4回発行各回93,000部）

## カ 調査研究事業

地域の課題やニーズを把握し、今後の講座企画や市内の生涯学習関連施設の事業企画の参考とするため、地域で抱える問題を住民が主体となって解決する手法を実践的に学ぶ講座などを実施した。

## キ 利用者などの声を生かす取組み

### (a) 生涯学習センター運営協議会

学識経験者などによる協議会を開催し、当センターの事業を検証するとともに、管理運営に生かした。

**【実績】9/18(木)、12/11(木)、3/19(木)**

### (b) 利用者アンケートの実施

利用者を対象に接遇などの満足度を測るアンケートを11月と2月に実施し、総

合満足度は約85%と、高い評価を得ることができた。

【実績】回収数528枚（前年度535枚）

### (3) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出し、資料収集並びに管理運営

#### ア メディアプラザ運営事業

広く学習相談に応じるとともに、生涯学習に関する資料の収集と貸出しや、資料紹介などのレファレンスサービスを通じて、学習活動の支援を行った。



【実績】利用者数61,738名（前年度41,489名）

##### (a) 図書閲覧・貸出し

生涯学習に役立つ図書（蔵書25,409冊）の閲覧と貸出しを行った。また、市立図書館の蔵書の取次サービスにも対応した。

【実績】図書貸出冊数29,488冊（メディアプラザの蔵書分のみ）

市立図書館の蔵書の貸出取次冊数23,463冊

##### (b) 音楽・語学教材・映像の視聴

音楽・映像・語学教材（保有数28,808点）を視聴に供した。また、クラシック音楽を中心とした音楽図書館として資料提供のほか、新たに音楽CD（約1万2千点）の館外貸出しを平成26年4月15日から開始し、市民から好評を得た。



【実績】利用件数 音楽教材1,642件（前年度2,291件）

映像教材3,983件（前年度2,586件）

語学教材19件（前年度70件）

音楽CD貸出数8,294件

#### イ 視聴覚センター管理運営事業

札幌市からの委託により、視聴覚教育の推進と市民団体や学校などへの学習支援を行うことを目的に、視聴覚センターの管理運営を行った。

##### (a) 視聴覚教材の貸出し

市内の学校、町内会やサークルなどに、16ミリフィルム（保有数3,065本）・ビデオ（保有数6,504本）・DVD（保有数1,322本）などの貸出しを行った。また、自主制作教材をホームページ上でも見ることができるデジタルアーカイブスを提供した。

【実績】教材貸出数3,548本（前年度4,423本）

機材貸出数273台（前年度257台）

デジタルアーカイブスアクセス数62,780件（前年度50,572件）

## (b) 学習教材の制作

学校教育、社会教育関係者に依頼して地域性がある教材を制作するとともに、教材制作を行う教職員などへの助言・技術指導も行った。

また、前年度に制作した教材のうち2作品が全国自作視聴覚教材コンクール（一般財団法人日本視聴覚教育協会主催）で入選した。

### 【実績】新規制作教材数4本

「札幌市の各区の様子」「さっぽろ雪まつり」ほか



「札幌市の各区の様子」

「さっぽろ雪まつり」

平成26年度全国自作視聴覚教材コンクール入選作品

<小学校部門> 優秀賞「空のげん関・新千歳空港 D9527」

<社会教育部門> 優秀賞「受けつがれる伝統 篠路獅子舞 D9526」

## (c) 視聴覚操作技術等講習会

### ① ビデオ制作ワークショップ

自主制作教材の制作技術の向上を図るため、教職員を対象に夏休み・冬休み期間中にワークショップを実施した。

【実績】4回38名（前年度4回45名）

### ② 中学校校内放送コンテスト

放送に係る技術・能力の向上を図るため、札幌市中学校放送教育研究会と共催で、中学校放送局員が制作した番組とアナウンスのコンテストを開催した。

【実績】7/13(日)7校42名（前年度7校45名）

アナウンス部門4名（前年度2名）

朗読部門27名（前年度25名）

テレビ番組部門1作品（前年度1作品）

ラジオ番組部門2作品（前年度2作品）

### ③ 中学校校内放送技術講習会

札幌市中学校放送教育研究会と共催で、中学校放送局員の技術向上を図るための講習会を実施した。

【実績】2回20校97名（前年度2回18校99名）

8/20(水)14校72名、1/7(水)6校25名

## II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

### 4 科学及び科学技術普及振興事業

#### (1) 科学に関する教室・講座

##### ア 科学教室

##### (a) 日曜実験室

小中学生を対象に、「身近な生活にある科学」をテーマに、気軽に参加できる実験教室を実施した。

【実績】62回825名（前年度8回247名）

「小さな世界をのぞいてみよう」

「どうしてスピーカーから音がでるの？」ほか



##### (b) サイエンジャー科学教室

小中学生を対象に、さまざまな切り口で観察や実験を行い科学の面白さを伝えた。

【実績】21回392名（前年度12回226名）

「ぼくたち火山探検隊!」「ROBOLABプログラミング教室」ほか

##### (c) 親子科学教室

来館・イベント参加へのきっかけづくりや、親子で協力する場を提供するために、親子で参加する実験・工作教室を実施した。

【実績】4回129名

5/24(土)「トライサイエンス～探査機を宇宙に送ろう～」 2回72名

12/6(土)「かがくかん紙すき工房」 2回57名

##### (d) 科学館の工作室

###### <小中学生向け>

科学的動作原理、材料や道具の正しい使い方などの習得とものづくりへの興味を喚起するため工作教室を実施した。

【実績】171回1,474名「さくらスコープ」ほか

###### <親子向け>

ものづくりに加え、工作物の原理などについて実演を交えながら解説を行う工作会を小学4年生以上の親子を対象に実施した。

【実績】7/5(土)、19(土)2回19組38名「手回し充電ラジオを作ろう!」

3/14(土)1回8組14名「センサーで光る!オリジナルスタンドを作ろう」

### <夏休み工作会>

小中学生の夏休み期間に合わせ、自由研究支援の目的で実施した。

【実績】7/26(土)～31(木)、8/6(水)～11(月)12日間770名

「ふしぎな扇子」「PK対決！シュートくん」

### <冬休み工作会>

小中学生の冬休み期間に合わせ、自由研究支援の目的で実施した。

【実績】1/10(土)～18(日)9日間423名

「牧羊犬と羊の追いかっこ」「スキヤーのスルスル！スラローム」

### (e) 大人のための天文教室

#### ① やさしく学ぶ星空教室

初心者向けに、季節の星座や星座早見盤の使い方などを学ぶ基礎的な天文教室を実施した。

【実績】2回全6日46名

6/5(木)、19(木)、7/3(木) 24名

2/5(木)、19(木)、3/5(木) 22名



#### ② 詳しく学ぶ天文講座

中級以上を対象に、少し専門的な内容を盛り込んだ天文講座を実施した。

【実績】2回全8日54名

9/19(金)、10/3(金)、17(金)、31(金) 34名

1/30(金)、2/13(金)、27(金)、3/13(金) 20名

### (f) 親子天文教室

親子を対象に、天文工作と天体観望を組合せた天文教室を実施した。

【実績】6回121組269名（前年度16回214組450名）

8/3(日)、9(土)、10(日)

「手づくりの天体望遠鏡で星を見よう」51組123名

1/10(土)、11(日)、12(月・祝)

「光る！星座スタンドをつくろう」70組146名



### (g) 宇宙セミナー

宇宙・天文についての興味関心を高めるため、第一線で活躍する専門家を招いて講座を実施した。

【実績】1講演親子20組（前年度1講演67名）

8/23(土)講師：風船宇宙撮影家 岩谷圭介氏

「宇宙はきみのそばに！風船パラシュート作成教室」親子20組



(h) 先端科学技術講座

技術者や科学者などの専門家を招き、最先端の科学技術や話題の科学に関することをテーマにした講演・実演を行った。

- 【実績】5/31(土)「第9回海と地球の研究所セミナー」 65名  
6/1(日)「キッズ・サイエンス・パーク」 約150名  
6/1(日)「プラネタリウムでみる『しんかい6500』と  
ふしぎな深海の世界」 165名

(i) 中高生による科学教室

中学校・高校の科学部などの生徒が、研究の成果を発表して交流する科学教室を実施した。一般来館者も参加・体験できる場とした。

- 【実績】参加校9校93名(中学校5校47名、高等学校4校35名、引率教員11名)  
観覧者863名

(j) 大学生による科学教室

大学生の科学教育研究支援のため、学生が小中高生を指導する科学教室を実施し、子どもたちの科学への理解や関心を高めた。

- 【実績】2回49名  
2/7(土)「世界最小? ミニロボット相撲であそぼう!」 受講者25名  
2/14(土)「空気のを体験しよう!」 受講者24名

イ 出前イベント

(a) 移動科学館

小学校などへ出向き、理科授業支援のため、学校では実施が困難な実験を含んだ科学教室を実施した。

- 【実績】13校836名(前年度19校1,454名)

小学校5年生8校499名

小学校6年生6校337名

※2つの学年で実施した学校あり

「電気と磁石は親戚!？」8校

「水にとけるとはどういうことか？」5校



(b) 幼児のための出前サイエンス

幼稚園へ出向き、就学前の子どもたちが楽しみながら科学に慣れ親しむことができるよう、遊びの要素を多く取入れた実験・実演・工作教室を実施した。

- 【実績】16園1,514名(前年度32園3,469名)

「サイエンスマジシャンのふしぎなマジック」ほか



(c) 出前サイエンス & 工作会

外部施設へ出向き、子どもたちが考えながら科学に触れることができるよう、体験を交えた実演などを実施した。

【実績】9/20(土)「難聴児向けサイエンスショー」

札幌市難聴児をもつ親の会からの依頼で中央小学校で実施 30名

(d) 移動天文台

学校や町内会などからの要請により、移動天文車と職員及び天文指導員を派遣して望遠鏡などでの天体観測や、星空解説などを行う観望会を実施した。

【実績】41回3,398名（前年度38回3,203名）

6/19(木)～8/11(月)、9/12(金)～9/26(金)

※申込み48件のうち悪天候による中止7件

もみじの森小学校、旭山記念公園など

<その他施設・団体からの依頼により対応した観望会>

8/7(木)藻岩山「藻岩で星見☆ナイト」62名

8/13(水)えこりん村「えこりん村星空観察会」39名



(e) 移動プラネタリウム

移動式のプラネタリウムを利用し、地理的・時間的に来館困難な小学校などへ出向き、学習投影を行った。

また、幼稚園やその他イベントなど多方面で活用した。

【実績】幼稚園10園21回724名（前年度1園1回40名）

小学校5校13回408名（前年度46校98回3,166名）

イベントなど4施設9回203名

（前年度4施設37回999名）



ウ その他科学普及に関する事業

(a) 札幌科学クラブ (Sciキッズ) 運営

リピーターの拡大につなげるため、小中学生を対象に会員を募り、設営中の特別展会場を案内する「冬の特別展バックヤードツアー」など会員限定のイベントの実施やメールマガジンでのイベント案内を行った。会員は半年ごとに募集するが、26年度については再開館が年度途中であったことから、10月から本格的な活動を行った。また、Sciキッズ修了生で引き続き活動を希望する会員は「友の会」会員として活動した。

【実績】新規Sciキッズ会員30名

Sciキッズ友の会会員38名（前年度75名）

(b) 職場体験などの受入れ

児童生徒の総合的な学習や学生の自主研修などへの支援として、職場体験やインターンシップを受入れ、指導した。

【実績】14校62名（前年度1校2名）

高校2校（白陵高校、英藍高校）5名

中学校12校（信濃中学校、もみじ台南中学校など）57名

(c) 実験実習セット貸出し及び制作

学校での効果的な授業作りに役立つ実験・実習セットを貸出した。

【実績】貸出し23団体37セット（前年度13団体19セット）

(d) 教員研修

教材研究に協力するとともに、授業や部活動に生かせる観察・実験の紹介や実習を行う教員研修を受入れた。

【実績】5回50名（前年度2回40名）

6/12(木)	南幌町教育研究協議会	6名
6/17(火)	当別・新篠津教育研究協議会	5名
7/31(木)	札幌市教育センター研修①	18名
9/6(土)	北海道中学校理科教育研究会	9名
1/8(木)	札幌市教育センター研修②	12名

(e) 4次元デジタル宇宙シアター

天文への興味・関心を喚起するため、国立天文台が開発したシミュレーションソフトを利用した映像を上映した。なお、上映にあたっては天文指導員が解説を行った。

【実績】11/15(土)～16(日)、22日(土)～24(月・祝)40回2,131名

2/14(土)～15(日)、21(土)～22(日)32回1,537名

(f) ちびっこワークショップ

主に未就学児の親子を対象に、科学に親しみを持ってもらうため、遊びの要素を取入れた体験型教室や工作、実演などを行った。工作ワークショップ開催の要望が多いことから、その充実を図った。

【実績】6回3,230名

「つくってあそぼう！クルクルたねコプター」

「ちびっこワークショップスペシャル～家族でサイエンス～」ほか

(g) 博物館実習の受入れ

大学からの依頼により、学芸員の資格取得のための博物館実習生を受入れ、指導した。

【実績】7校9名

(前期) 8/4(月)～8/15(金)

札幌大学1名、東海大学1名、北翔大学1名、東京造形大学1名

(後期) 8/30(土)～9/14(日)

東海大学1名、札幌学院大学3名、北海道大学1名

## エ 共催事業・協力事業

(a) 札幌市中学校「私たちの科学研究発表会」(共催：札幌市中学校文化連盟)

生涯学習総合センターで開催された中学校科学部の生徒らによる科学研究の成果を発表・交流する中文連発表会に協力した。

【実績】11/1(土)～2(日)10校24テーマ155名(前年度14校37テーマ218名)

(b) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」(主催：一般財団法人日本宇宙フォーラム)

宇宙の日(9月12日)を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品を募集し、審査と会場提供を行った。作品は館内に掲示した。

【実績】応募数 作文：小学生8名、中学生5名

絵画：小学生248名、中学生34名

当館から全国入賞者2名

作文中学生の部 リモート・センシング技術センター理事長賞1名

絵画中学生の部 文部科学大臣賞1名

(前年度 作文：小学生9名、中学生1名 絵画：小学生386名、中学生48名)

(c) 札幌市創意くふう作品展(主催：札幌市創意工夫教育研究会他)

市内の小中学生が自由研究などで制作した作品の審査に協力するとともに、その表彰式と入選作品の展示に協力した。

【実績】9/20(土)～21(日)展示数81点、応募数270点

(前年度展示数92点、応募数245点)

(d) 夏休み天体観望会(共催：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

定山溪自然の村を会場に、光害の少ない環境において星雲や流星などの明度が低い天体を見る機会を提供した。

【実績】8/12(火)201名(前年度266名)

(e) さっぽろ星まつり(共催：さとみらいプロジェクトグループ)

さっぽろさとらんどを会場に、天体愛好家の協力を得て、天体観望・望遠鏡工作・星のおはなし会などを行った。

【実績】9/6(土)～7(日)2日間7,100名

(前年度2日間2,500名)



(f) H-II A24号機打ち上げのパブリックビューイング

(主催：国立大学法人北海道大学大学院理学研究院)

市内で行われている研究開発の取組みを広く知らせるために、北海道大学が開発に関わった超小型人工衛星がH-II A24号機ロケットにより打上げられる様子を、研究者の解説をまじえて見る「パブリックビューイング」を開催するために、会場提供や広報協力などを行った。

【実績】5/24(土)120名 ※打上げ映像はプラネタリウム内でも上映(100名鑑賞)

(g) ディスカバリーキッズ科学実験館～コズミックカレッジ～

(主催：JAXA、ディスカバリー・ジャパン株式会社)

子どもたちに最先端の科学技術を伝えることを目的に、親子で楽しめる宇宙科学イベントを開催するために会場提供を行った。

【実績】9/7(日)148組(大人196名・子ども187名)

午前の部 82組(大人106名、子ども99名)

午後の部 66組(大人90名、子ども88名)

(h) 手に届く宇宙☆地球科学レクチャーin札幌

(主催：地球電磁気・地球惑星圏学会)

地震や火山などの地球内部現象から、地球大気、宇宙の現象まで幅広く研究している学会(SGEPSS)のアウトリーチ活動の一環として実施した。若手研究者や学生が、研究や科学の魅力などを小中学生や高校生などに伝えるために、雷や大気圧などの実験や展示、講演を行うための会場を提供した。

【実績】7/27(日)300名

(i) 全国小学校理科研究大会北海道大会への参加

当館の取組みを伝えるアウトリーチ活動の一環として、同大会に職員2名を派遣し、展示ブースを設け、学習支援の取組みを紹介した。

(j) 親子メカトロ教室「走れ！ロボットカー」(主催：一般社団法人日本機械学会)

プログラミング学習用教材ロボットを使い、ロボットの動く原理やプログラムの流れについて親子で学ぶ実習を行うための会場提供、広報協力を行った。

【実績】6/21(土)28組51名

(k) SICWEEK2014(主催：公益社団法人計測自動制御学会)

道内の大学生によるロボット競技会や、道内の大学(5大学10ブース)によるロボット展示、子ども向けロボット作りワークショップ、ロボット作り教育についての特別講演などを実施するために、会場提供、広報協力を行った。

【実績】9/14(日)～15(月・祝)545名

(l) サイエNZ00(主催：札幌市円山動物園)

「円山動物園科学の日 サイエNZ00」の中で、新たに動物に関するミニ実験

や浮力に関するサイエンスショーを企画し実施した。

**【実績】 10/12(日)246名**

(m) ジオ・フェスティバル (共催：ジオ・フェスティバル in Sapporo)

ジオ・フェスティバル in Sapporo実行委員会との共催で、館の開館無料感謝デーに合わせてブース形式で地球科学の魅力について伝える実験などを行った。当館は会場提供、広報協力を行った。

**【実績】 10/4(土)3,358名**

(n) 北海道青少年科学技術振興作品展 (主催：北海道発明工夫教育連盟)

道内の小中学生が自由研究などで制作した作品の展示(入選作品)とその表彰式の会場を提供した。

**【実績】 11/22(土)~23日(日)展示数59点、応募数126点**

(o) かるちやるネット

厚別区と江別市にある社会教育施設など11施設(北海道開拓記念館、道立図書館など)が連携し、地域住民の学習・文化活動の推進活性化や、施設間連携の促進を目指す「かるちやるnet」に参加し、各施設のPRと体験講座を行うイベントを実施した。当館は「デジタル宇宙シアター」を実施した。

**【実績】 10/26(日)「発見・体験文化の秋—遊ぼう!学ぼう!**

あつべつ・えべつ—」372名

11/30(日)「かるちやるガーデン」157名

※博学連携の一環として北海道教育大学の学校・地域教育研究支援センターとの共同主催

(p) CISEネット連携事業

札幌市周辺の博物館などの教育施設20団体・施設(北海道大学総合博物館など)が連携し、市民への実物科学教室を推進するネットワーク「CISEネット」に参加し、講座などを実施するための会場提供、広報協力を行った。

**【実績】 11/8(土)「ヒグマの科学」17名**

1/24(土)「隕石と恐竜」126名

(q) 「ペーパークラフトで除雪車を作ろう!」(主催：札幌市建設局)

ロータリー除雪車のペーパークラフト作りの講習を行い、除雪について学ぶ体験教室の実施に協力した。

**【実績】 1/10(土)20名**

(r) 全国科学博物館連携協議会第22回研究発表会

(共同主催：全国科学博物館協議会、一般財団法人全国科学博物館振興財団)学芸員など博物館専門職員の活動の一層の充実を目的に、科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表・協議する研究発表会を北海道で初めて

開催した。「科学技術が信頼されるために科学系博物館は何をすべきか」をテーマに、講演や分科会が開かれた。当館は、会場を提供するとともに、職員による講演や司会進行を行った。

**【実績】 2/26(木)～27(金)参加者延べ140名**

**(s) はやぶさ2パブリックビューイング**

独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と連携し、惑星探査機「はやぶさ2」の打ち上げ映像を公開するパブリックビューイングを開催し、広く市民が観覧する機会を提供した。

**【実績】 12/3(水)20名**

**(t) 新さっぽろ冬まつり**

厚別区主催の地域団体・住民との共同によるまちづくりの実現を目的とする「新さっぽろ冬まつり」に参加し、厚別区民センターで移動プラネタリウムを実施した。

**【実績】 2/1(日)3回43名**

**(u) ロボットづくり講習会～初級編～（主催：北海道ロボット教育推進会）**

レゴ社のプログラミング教材を用いて、組み立てたロボットに動きを付け、競技を行う講習会を実施するために、会場提供、広報協力を行った。

**【実績】 3/15(日)2回36名**

**(v) こどもものづくり体験教室「車のエンジンを見てみよう！」**

（主催：北海道経済部産業振興局産業振興課ものづくり産業グループ）

子どもたちのものづくりへの興味を喚起するために、小学生の親子を対象にしたものづくり教室を実施した。教室では、車の走るしくみを学ぶ講義と小型単気筒レシプロエンジンの分解・組立体験を行った。

**【実績】 12/6(土)2回80名**

**(2) ボランティアなどの育成・活用事業**

**ア 天文指導員の養成**

天文に興味をもっている学生や一般市民に定期研修や天文事業への参加機会を提供し、天文普及の一翼を担う人材を養成した。

**【実績】 登録者数46名（新規9名）（前年度登録者数53名）**

**(3) 科学に関する情報の収集・提供**

**ア 科学技術に関する資料の収集**

**(a) 科学技術に関する資料の収集**

展示物の解説や展示物の更新・改良の基礎資料として、市販の出版物や他施設

における発行物などを収集し、提供・活用した。

#### (b) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物を収集するとともに、札幌市天文台と移動天文車などを活用して観測天体写真を撮影し、資料として収集し、提供・活用した。

なお、撮影した天体写真はホームページなどで公開した。

【実績】 10/8(水)	皆既月食の様子	
11/18(火)	太陽黒点	
12~2月	ラブジョイ彗星	
3月	木星	各写真をHPに掲載

### イ 科学情報の提供・学習支援

#### (a) 「星空散歩」発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを隔月で発行し、市内公共施設などで配布した。

【実績】 6回発行(4月、6月、8月、10月、12月、2月)年計55,500部発行

(前年度4回各回2,000部 ※休館中のため、館内配布をしなかった)

#### (b) 天文相談コーナーの運営

天体望遠鏡や参考図書などを備えた天文相談コーナー「星のへや」を設置し、土曜を中心に、職員や天文指導員が来館者の天文相談に対応する時間を設け、初歩的な質問に答えるなど、来館者の天文学習を支援した。

#### (c) ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページに科学トピックスや学習支援のためのワークシートを改善して掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行った結果、アクセス数増となった。

【実績】 ホームページアクセス数382,185件(前年度278,153件)

## 5 青少年科学館等管理運営事業

### (1) 展示関連事業

#### ア 科学館展示

##### (a) 常設展示

天文・地球科学、北方圏、電気、力学などのテーマに沿った展示物に、パネルによる解説文をつけるなどし、科学原理をより楽しく、理解しやすくなるよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらった。

平成25年度末に導入された「天文・地球科学コーナー」を再開館に合わせて運営開始した。さらに平成26年度末に「交通・力学コーナー」をリニューアルした。



また、廃止が決定した「バーチャリウム（疑似体験装置）」の大規模実験室転用を図るために「大実験教室」の試行的実施や、新しい展示物の制作・設置にも取り組んだ。

【実績】市内小学校227校16,966名

市外小学校35校1,553名

(b) 展示実演等

① サイエンスショー

不思議な現象の紹介や楽しい実験を通して、来館者とのコミュニケーションを図りながら科学への興味関心を深めてもらえる内容の実演ショーを行った。

【実績】714回20,002名（前年度80回3,618名）

「泡ってモノなの？」ほか

② テレビスタジオ

クロマキーなどテレビ番組で使われている特殊効果の紹介と実際に撮影体験してもらおう参加型の実演を行った。

【実績】開館期間平日2回/日、土日祝日及び特別展期間中3回/日

③ 低温展示室公開

-10℃に設定した部屋の中に雪や氷の性質が分かる展示物を配置し、解説を行った。観測船「しらせ」から寄贈された南極の氷の展示も行った。

【実績】開館期間3回/日

(c) 実験・実習への協力

市内の小中学校を対象に、学習指導要領に沿った内容で子どもの興味・関心を高める実演や実験・実習を科学館で行った。

【実績】8校295名

小学校4年生4校222名、中学校1年生2校67名、特別支援学級2校6名

イ 特別展等

(a) 特別展

話題性の高いテーマや特定のテーマを深く振り下げた体験型の展示を中心とした特別展を開催した。

① 再開館オープニングイベント

独立行政法人科学技術振興機構（JST）の湊真一博士が開発した「フカシギの考え方」（膨大な組合せとそれを数え上げる計算について紹介するパネルや映像解説などの展示物）の展示を行った。

【実績】4/24（木）～5/6（火・祝）期間中の入館者数46,653名

## ② サイエンジャーのワンダーランドGW

ゴールデンウィークに合わせて、さまざまな種類の楽器で遊べるコーナーや、カプラやポリドロンなど頭と体を使って遊べるコーナーの設置など、親子で一緒に楽しめるイベントを実施した。

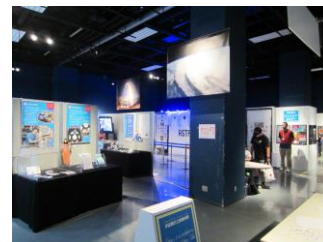


【実績】5/3(土・祝)～6(火・祝)

期間中の入館者数26,791名（前年度4日間23,546名）

## ③ 夏の特別展「アストロアドベンチャー～宇宙飛行士になりたい～」

「天文・地球科学コーナー」リニューアルに合わせて、山崎直子名誉館長監修の下、宇宙飛行士の活動やトレーニングを紹介する体験型展示を実施した。



【実績】7/26(土)～8/24(日)

30日間入館者数93,615名

## ④ 冬の特別展「近くて遠い未知の世界～深海への挑戦～」

地球科学を理解する上でも重要であり、近年注目を集めている深海をテーマに、探査技術やその成果、深海生物やパネル資料などを展示した。

【実績】1/4(日)～18(日)15日間入館者数17,945名

## ⑤ 春の特別展「カラコロKARAKURI展～まわして始まる物語～」

イギリスなどの作家による「現代のからくり人形」を52点、物の動く仕組みやその構造を学べるパネルの展示、空間認識能力を育むゲームやパズルなどの体験型展示を実施した。

【実績】3/25(水)～31(火)7日間入館者数12,664名

### (b) バックヤードツアー

普段見ることのできない特別展の設営の様子や展示室の裏側などを見学するツアーを実施した。

【実績】夏の特別展7/21(月・祝)2回37名

冬の特別展12/21(日)2回20名 ※Sciキッズ会員限定イベント

### (c) 山崎直子講演会「宇宙が教えてくれたこと」

未来を生きる子どもたちへ、山崎宇宙飛行士が宇宙に興味を持ち宇宙飛行士になるまでの経験や、宇宙ステーションでの体験など、写真や映像資料を交えながら講演した。

【実績】7/28(月)187名

### (d) 環境科学展

市内の企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などを紹介するイベントを開催した。子どもたちにわかりやすくするため、体験型のブースをより多く

展開した。

【実績】10/25(土)～26(日)出展団体15団体、入館者数5,183名

(e) サイエンス広場

中学校・高校の科学部などが設けた展示ブースで子どもたちが科学実験などを体験できるイベントを新規で開催し、科学コミュニケーション能力の基礎を培うとともに、子どもたちの科学への興味関心の向上に役立てた。

【実績】2/28(土)出展校6校49名(中学校3校26名、高等学校3校23名)  
入館者1,234名

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影・解説

(a) 一般投影

星や星座についてわかりやすく解説し、天文学の初歩から最新情報までを学習する機会を提供した。

また、上映内容にバリエーションをもたせることで利用者の満足度の向上に繋げるため、市販のオート番組「GOODNIGHT GOLDBLOCKS」を導入した。

【実績】1,324回113,432名※無料感謝デー、プラネ祭り除く  
(前年度160回16,841名)

(b) 学習投影

学習指導要領を踏まえ、月の動きや季節の星座、星の色などについて解説した。

【実績】224校142回17,206名(前年度117校71回9,582名)

移動プラネタリウムによる学習投影5校13回408名(前年度45校97回3,033名)

(c) オート番組制作

プラネタリウムのオリジナルオート番組を科学館の特色、独自性を生かし、未就学児や小学校低学年の理解度に合わせた内容で制作した。

【実績】「山崎直子宇宙飛行士のスペース・アカデミー」  
(制作協力)  
「おぼけのマ〜ルとゆめのとびら」(制作)



イ プラネタリウム特別投影

(a) 特別投影

通常のプログラムとは趣向を変え、旬の話題や現象について深く掘り下げ、天文に興味のある人にさらに深く、広く考えてもらえるような投影を行った。

【実績】7回912名

6/28(土)「ヒーリング・ヨガプラネタリウム」	174名
7/26(土)「星空☆珍獣ハンティング」	148名
8/23(土)「宇宙から地球を見てみたら」	154名
9/27(土)「10・8皆既月食」	105名
10/25(土)「ノチウ～アイヌの人々が見た星空」	108名
2/28(土)「恋人たちのためのプラネタリウム」	114名
3/21(土・祝)「プラネタリウムで聞きたい曲ベスト」	109名

(b) イブニングプラネタリウム

通常の開館時間中に来館できない人に観覧機会を提供するため、週末の夜間に一般投影を行った。

【実績】3回224名（前年度1回107名）

5/31(土)「GOODNIGHT GOLDILOCKS」	146名
11/22(土)「山崎直子宇宙飛行士のスペース・アカデミー」	45名
1/31(土)「GOODNIGHT GOLDILOCKS」	33名

(c) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な人がプラネタリウムを楽しめるように、字幕付きの投影を行った。

【実績】6回570名

8/8(金)、9(土)「サイエンジャーと星の一生」	2回361名
11/7(金)、8(土)「宇宙～その始まりを求めて～」	2回154名
2/6(金)、7(土)「サイエンジャーと星の一生」	2回55名

ウ 天体観望事業

(a) 天体観望会

① 科学館観望会

主に夜間のプラネタリウム上映に合わせ、科学館駐車場において移動天文車などを使った観望会を行った。

【実績】7回387名 ※11回中4回中止（前年度1回120名）

② ゴールデンウィーク観望会

ゴールデンウィーク期間中（5月3日(土)～5月6日(火)）に科学館正面玄関前で太陽と火星・木星の観望会を行った。

【実績】5/3(土・祝)～6(火・祝)「太陽観望会（昼）」410名

5/3(土・祝)～6(火・祝)「火星・木星観望会（夜）」73名

（前年度 悪天候のため中止）

③ 昼間の星を見よう！

27年度からの新規事業を見越して試行的に、屋上天文台の60cm望遠鏡を用い

昼間の星を観望した。

【実績】7/5からの土曜日37回456名

#### ④ 皆既月食観望会

日本では約3年ぶりとなった皆既月食の観望会を行った。

【実績】10/8(水) 札幌市青少年科学館会場500名

札幌市天文台会場400名

#### (b) 札幌市天文台公開

天体観望の機会を提供するとともに、天文に関する話や質問への対応を通して天文に対する興味・関心を高め、天文台の利用促進を図った。天文台を訪れる観光客の増加や、皆既月食など注目される現象もあり、来場者数が増加した。

【実績】午前304回2,838名、午後262回1,938名、夜間69回1,538名 計6,314名

(前年度午前305回1,665名、午後264回1,208名、夜間76回1,687名 計4,560名)

### エ プラネタリウム祭り

プラネタリウムの可能性や認知度を高めるとともにその魅力を広く市民に伝えるため、コンサートや絵本の読み聞かせなど、科学以外のジャンルと組み合わせた内容のイベントを実施した。



【実績】12/6(土)~7(日)、13(土)~14(日) 3,448名

### (3) その他施設運営

#### ア 「科学館ニュース」の発行

イベント情報などを盛り込んだ「科学館ニュース」を毎月発行し、市内の幼稚園、小中学校に配布した。また、26年度から地域への広報強化の一環として、区役所や区民センターなどのコミュニティ施設や、図書館などの社会教育施設にも配布するなど、配布先を増やした。

【実績】11回総計19,640部 ※館内配布分は除く（前年度10回 総計7,215部）

### イ 利用者などの声を生かす取組み

#### (a) 利用者アンケートの実施

開館中に来館者に対して施設利用に関するアンケートを実施した。

ゴールデンウィーク期間中に、例年を上回る来館者があり、入館までの待ち時間に関するご意見・ご指摘をいただいたことから、発券処理のスピードアップを図る研修や、効果的な行列整理を行い、入館待ちの解消に努めた。

【実績】3回収数（GW246名、夏の特別展262名、冬の特別展223名）

**(b) 科学館運営協議会の開催**

学校関係者や学識経験者、地域有識者などからなる協議会を開催し、当館の事業を検証するとともに、改善に向けた助言を得た。

**【実績】** 10/29(水)、12/16(火)、3/20(金)

**(c) 子ども科学会議の開催**

小学校児童を中心に、科学館への要望や、あったらいい展示物などの意見を聞く場を設け、運営に生かした。

**【実績】** 3/21(土)19名参加

**(d) 科学館開館記念感謝デーの開催**

開館日（10月4日）を記念した科学館開館記念感謝デーのイベントを行い、館を1日無料開放し、幅広い年齢層の来館を促進した。

**【実績】** 10/4(土)4,321名

## **収 1 物品販売等事業**

(定款第4条第1項第6号に掲げる事業)

### **(1) 売店の運営**

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者等への便益提供を目的とした売店事業を行った。また、さっぽろ星まつり等にも出店し、オリジナル商品である星座早見盤等の販売を行った。

### **(2) 自動販売機の設置・販売**

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行った。

### **(3) 飲食店の運営**

生涯学習センター利用者への便益提供を目的とした飲食店事業について、今後、改めて運営形態などの見直しを含めて検討を進めていく。

## **他 1 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業**

(定款第4条第1項第5・6号に掲げる事業)

### **(1) 施設の貸与**

企業などの利用を含む公益目的以外の目的に対し、ちえりあホールや各種研修室などを貸与した。

### **(2) 駐車場管理業務**

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、利用者への便益提供を目的とした駐車場の管理運営を行った。

### **(3) 施設管理受託業務**

札幌市生涯学習総合センター内の教育センター、若者活動センター、リサイクルプラザの警備、清掃業務を札幌市から受託し、実施した。

## 平成26年度 管理運営施設利用状況

## ● 札幌市青少年科学館観覧者数

		平成26年度※改修工事の為開館日数281日間			前年度 (平成25年度) ※改修工事の為開館日数32日間
		個人	団体	合計(人)	
展示室	大人	120,426	10,416	<b>130,842</b>	20,731
	小人	125,887	49,025	<b>174,912</b>	26,973
小計		246,313	59,441	<b>305,754</b>	47,704
プラネタリウム	大人	53,362	5,296	<b>58,658</b>	7,590
	小人	47,161	28,819	<b>75,980</b>	10,010
小計		100,523	34,115	<b>134,638</b>	17,600
合計		<b>346,836</b>	<b>93,556</b>	<b>440,392</b>	65,304
1日あたりの観覧者数(人)		1,567			2,041

## ● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況

項目		平成26年度	前年度対比	平成25年度
貸室(25室)	利用率(%)	<b>80.2%</b>	101.3%	79.2%
	利用人数(人)	<b>369,058</b>	104.0%	354,696
1日あたりの利用者数(人)		1,064	104.1%	1,022

## ● メディアプラザ利用状況

項目	平成26年度	前年度対比	平成25年度
メディアプラザ利用人数(人)	<b>61,783</b>	148.9%	41,489
一日あたりの利用者数(人)	178	148.3%	120

## ● 視聴覚センター教材貸し出し状況(16ミリ・ビデオ教材・機材)

項目	平成26年度	前年度対比	平成25年度
貸出本数	<b>3,821</b>	81.6%	4,680



## ● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況内訳(主な貸室)

項目		平成26年度	前年度対比	前年度 (平成25年度)
ホール	利用率	71.6%	107.5%	66.6%
	利用人数	113,915	101.7%	111,988
講堂	利用率	72.0%	115.4%	62.4%
	利用人数	50,326	120.5%	41,778
大研修室	利用率	67.1%	95.7%	70.1%
	利用人数	24,660	98.1%	25,127
中研修室1	利用率	69.5%	93.8%	74.1%
	利用人数	15,666	96.8%	16,192
中研修室2	利用率	83.9%	98.9%	84.8%
	利用人数	17,796	99.9%	17,809
演劇スタジオ1	利用率	97.4%	105.6%	92.2%
	利用人数	10,763	90.7%	11,862
演劇スタジオ2	利用率	97.4%	100.6%	96.8%
	利用人数	7,929	94.6%	8,384
音楽スタジオ1	利用率	95.7%	104.0%	92.0%
	利用人数	6,334	107.9%	5,872
音楽スタジオ2	利用率	97.4%	100.8%	96.6%
	利用人数	7,116	112.5%	6,326
映像スタジオ	利用率	72.9%	112.5%	64.8%
	利用人数	8,693	120.9%	7,189

## ● 視聴覚センター教材・機材貸し出し内訳(16ミリ・ビデオ・機材)

項目		幼稚園	小学校	中学校	高校・特別支援学校	社会教育	合計
貸出本数	平成26年度	141	2,067	535	44	1,034	3,821
	平成25年度	219	2,830	592	36	1,003	4,680
	前年度対比	64.4%	73.0%	90.4%	122.2%	103.1%	81.6%

## ● 視聴覚センター視聴覚教材保有数

	DVD	VHS	16ミリ フィルム	合計
保有数	1,322	6,504	3,065	10,891
うち新着数	50	0	0	50
廃棄	0	0	0	0

## ● メディアプラザ音楽・映像教材保有数

	CD	LP	SP	LD	VHD	VHS	DVD	合計
保有数	12,245	8,763	1,946	1,884	101	192	1182	26,313
うち新着数	184	0	0	0	0	0	50	234

## ● メディアプラザ語学教材保有数

	カセット	CD	LD	VHD	VHS	合計
保有数	2,195	14	18	1	267	2,495